

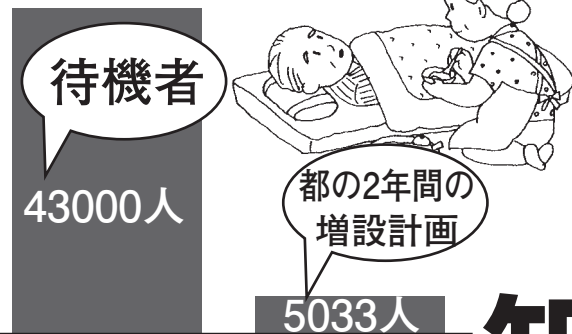
特養ホーム 大幅増設を

共産党・都議団が

知事に迫る

3月 都議会

■低すぎる都の計画



《待機者の実態(一例)》

- 病院を転々としながら入所を待つ人は毎月20数万円もの高額な医療費等の負担に苦しみ、3カ月ごとの転院先を探しながら入所を待たされている
- 80歳を超える妻が必死に夫を介護をしているが自分が病気になるいと優先入所の対象にもならず待たされている

日本共産党都議団は3月12日、都議会予算特別委員会で、都内で待機者が4万3000人に達している特別養護老人ホームの大幅増設を猪瀬知事に迫りました。

都議団は、入所できない待機者の深刻な実態(左上の囲み参照)をつきつけ、「最大の問題は都の整備目標が低すぎることだ」と指摘。都の計画では2013～14年度で計5033人増にすぎないことをあげ、入所を希望する人の実態に見合うよう4年間で2万床の増設計画の策定を提案。廃止した特養ホーム用地費助成の復活など用地確保の支援の拡充を求めました。

「施設も大事」知事が答弁

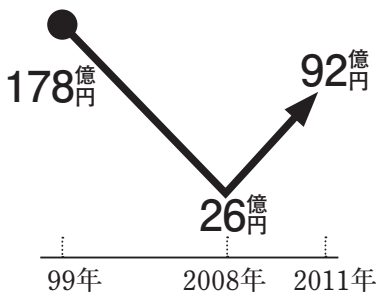
猪瀬知事は「施設整備も大事だし在宅支援も進めないといけない。さまざまな施策を組み合わせて区市町村と強力に進める」と答えました。

都民が声をあげれば、政治は変えられます

2万人分 増設に全力

共産党都議団は、都民の運動と力をあわせ、東京都に対し特養ホームの増設をくりかえし要求。いったん大幅に減らされた特養ホーム整備費は一定のところまで回復しています。この力をさらに大きくし、2万人分の増設を実現させるために、共産党を大きくしてください。

減らされた特養ホームの整備費補助が一部回復へ



前都議会議員 (中野区)

植木こうじ

うえき こうじ



参院東京選挙区予定候補

吉良よし子

きら よしこ

署名にご協力を
(ウラ面にあります)

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2013年4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党

特別養護老人ホームの大幅増設をもとめる署名

東京都知事 猪瀬 直樹 殿

特別養護老人ホームに申し込んでも入所できない待機者は全都で、4万3000人にのぼります。

待機者の実態は深刻です。「病院を転々としながら入所を待つ人は毎月20数万円もの高額な医療費等の負担に苦しみ、3カ月ごとの転院先を探しながら入所を待たされている」という例や、「80歳を超える妻が、いつ自分が倒れるかと心配をしながら、24時間、身を粉にして夫の介護をしながら、入所を待っている」などの声も寄せられ、その解決はまったなしです。

しかし、現在の東京都の計画では、2013〜14年度の2年間で、計5033人増にすぎないなど、実態からみて低すぎます。入所を希望する人の実態に見合うよう少なくとも4年間で2万人分の増設を強く求めます。

【要請事項】

東京都の計画を抜本的に引き上げて、特別養護老人ホームを大幅増設してください。

氏名	住所